２０２６年９月７日

クレジットカード不正利用被害の集計結果について

一般社団法人日本クレジット協会

一般社団法人日本クレジット協会（会長　山本　豊）は、クレジットカードの不正利用の実態を明らかにするため、クレジットカード発行会社を対象としたクレジットカード不正利用被害実態調査を継続的に実施しており、このたび、２０２６年第２四半期（４月～６月分）の集計値をとりまとめました。

２０２６年第２四半期（４月～６月）のクレジットカード不正利用被害額は１０７．７億円となり、前期（２０２６年第１四半期（１月～３月））と比較して５．２%減少しました。

被害内訳は、偽造カード被害額が１．４億円（前期比６．７%減）、番号盗用被害額が１００．１億円（同５．６%減）、その他不正利用被害額が６．２億円（同１．６%増）となりました。

また、不正利用発生率は０．０２９%となり、前期比０．００４ポイント減少しました。

なお、２０２６年調査分より調査方法を変更しております。このため、本実態調査の集計結果をご利用の際には、２０２６年以降調査方法が変更されている点にご留意ください。

詳細は、「別紙　クレジットカード不正利用被害の発生状況」を参照してください。

◎お問い合わせは下記までお願いいたします。
一般社団法人日本クレジット協会　業務部
〒103-0016　中央区日本橋小網町 14 番 1 号
住生日本橋小網町ビル
TEL　０３－５６４３－００１１

投稿先：東商記者クラブ・日銀記者クラブ